



平成 24 年 10 月 19 日 第 2 卷(第 28 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策本部会議 議事録
4. 災害対策本部からのお知らせ
5. 事務所感想文



現地職員と、大阪からの協力員の打ち合わせ風景

— 現地石巻 photo —

●●●1. 現地支援活動報告

今週は、報告がありませんでした。

●●●2. 現地感想文

●●●10/10 岩間 光紀（秀友会介護保険相談センター）

11 か月ぶり、2 度目の石巻で過ごした 4 日間でした。

一部、石巻市所有の建物は修繕が遅れているものの、建物や道路などは、ほぼ復旧が進み、日本中のどの街と同じ光景です。しかし、健康状態や就労、気持ちの面でも、まだまだ震災の影響を受けたままの方もいらっしゃいます。多くの小学生が亡くなった大川小学校の現状は、破壊された校舎に残る黒板とカーテンが、普段の学校生活を想起させ、とてもつらい気持ちとなりました。

現地市民の方と、我々はどのように関わらせていただくのか。震災後一年半を過ぎましたが、これからも、いつも考えなくてはならないことだと思います。

（活動期間：平成 24 年 10 月 5 日～8 日）

●●●10/12 依光 則子（現地担当）

昨日はお昼ついでに協力員を石巻市立病院周辺へご案内。旧北上川を挟んで対岸の瓦礫の山が少し小さくなった気がしました。

広域処理、再生利用、報道を見ても瓦礫処理の進捗状況がなかなか伝わってきませんが、実際はどうなのでしょう。

●●●10/14 秦 靖宏 (大阪府済生会富田林病院)

初めて参加させていただきました。

仙台に5年間住んでいたこともあり、石巻市も何度か訪れたこともありましたが、実際に目の当たりにして、あまりの被害に驚かされました。被災当初はこんなものではなかったとは思いますが…。

3日間という限られた日数の中で、現地のスタッフ、さまざまな関係職種が集まり復興に向けて支援を積み上げていく様を見ることが出来ました。私自身もフォローのために車を走らせ自宅を訪問させていただきました。支援の形も物という物理的なものから、精神的なフォローに移って、ますます重要になっていく事を感じさせられました。

住民の方の「支援される側から自立へと変わらなければならない。」という言葉が非常に私自身の心に残っております。

今回の参加は、私自身にとって大きな何かになったと思います。大阪には帰りますが、大阪でもできる何かをしたいと思います。

最後になりましたが、現地スタッフの皆さんの丁寧なサポートのもとで協力員の活動が出来たと思っています。本当にありがとうございました。

(活動期間:平成24年10月11日~13日)

●●●10/14 中山 智史 (大阪府済生会泉尾病院)

今回初めて参加させていただきました。

現地の社会資源など分からないまま、どのような支援ができるのか不安でしたが、現地スタッフの方に一つひとつ丁寧に教えていただき、安心して活動ができました。

自宅訪問では土地勘のない中、地図とナビを頼りに、時には近所の方々に聞きながら自宅を探し訪問しました。やっと慣れてきたころで帰阪しなければならないことが残念です。

活動を通じて、支援の在り方が物の変化しているように感じ、物の支援より心への支援へ変化しているように思い、精神的なフォローなど見守りがより重要であると感じました。

今回の参加を通じ、自分の中で何か大きなものになるように感じました。

最後に現地スタッフの皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

(活動期間:平成24年10月11日~13日)

●●●3. 第9回 災害対策本部会議 議事録

実施日 2012年10月6日(土)18:00～

出席 佐原・笹岡・飯島・武山・久保木・山田・梅崎・左右田・東・富永・三輪
(敬称略・順不同)

欠席 篠原・坪田

1. 災害対策本部 事業全体について

(1)財政面

- 東日本大震災災害支援関係収入・支出進捗表
- 赤い羽根災害ボランティア・NPO 活動サポート募金助成の申請済み。

(2)人事

●職員

【現地】 責任者:久保木美由紀

依光則子(11月27日～1週間、研修のため不在)

中辻康博(～平成24年10月20日まで(実質10月18日))

*今後、協力員として活動予定

富永千晶(平成25年1月15日～予定)

宿 舎:依光則子、10月1日から中里サポートセンターD棟の一部屋を使用。
ベット、TVの購入可→現地責任者に一任。

【事務所】 ・三輪(～12月まで)。
・日本協会で事務員を一名雇用し、災害対策本部と兼務していただく。

●協力員

【現地】 ・年末年始の受入れ(12/29日(木)～1/6日(日))は協力員の受入れなし。
・今後も無制限で受入れ。
・期間は原則として、移動を含まず中3日以上(特に初回参加者は3日以上)。

【事務所】 月～金 10時～17時

(3)日本ソーシャルワーク学会

●ソーシャルワーク研究に投稿予定の草稿内容について

- ・日本協会の意見としては、問題ないが、結論が出ていない部分については削除。
- ・まとめのところは今後相談しながら詰めていく(ネクストステップを意識した形でまとめる)。

(4)「医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」について

- 第1回打ち合わせ終了、まだ決定していないところについて今後詰めていく。
 - ・バトンⅡに掲載する期間について:「バトンⅠ」では月ごとにまとめているが、「バトンⅡ」は、トピックごとにまとめていく。
 - ・内容に追加する項目:市との協議についても加える。
 - またその間に、理事会でどのような協議がされたか、協会としての方針等を含んだものにする。
 - 対策本部の動きを追うタイムライン。
 - 次の災害に活かせるように、どのような手順でどのように活動を広げていったかについて。
 - ・完成時期:1月末～2月上旬を目指す

(5)災害支援ソーシャルワーク報告会

- 今後の開催地について
 - ・神奈川県医療社会事業協会;今年度2回目の災害支援ソーシャルワーク報告会を10月13日(土)13:30～開催。
 - ・北海道;災害支援ソーシャルワーク報告会を、10月13日(土)に開催。
 - ※今年度「災害支援ソーシャルワーク報告会」を開催していないが、これまで県協会として参加のあった地域
 - …石川、四国(愛媛・高知)、新潟

2. 事務所支援活動

- ホームページへ復興支援協議会の動画をリンク済。協議会側からも、災害のホームページにリンクしてもらった。
- SugarSyncを利用した、現地との情報共有について
 - ・通常、本部事務所からは活動カレンダーのみを共有にする。
 - ・写真や書類の作成などに活用
- 広報について
 - ①災害支援ニュースの書式について
 - ・パターンが同じで、事務員募集から始まるので少し書式を変えてはどうか。
 - ※参考 災害ホームページのアクセス数 ①トップページ(823人)
②活動カレンダー(783人)
③ニュース(757人)

【今後の災害支援ニュース】

- ・現地支援活動の写真を掲載する。
- ・「事務所からのお知らせ」と「活動報告」の順番を逆にする。
- ・石巻市へ毎月提出している「月報」を掲載する。
- ・現地の「団地だより」「ピースボート」の記事等も掲載する。
- ・「ネクストステップ準備室」についても 200 字位でまとめて掲載する。

②Facebook

③書籍販売;東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』

※(10/1 現在)在庫 2139 冊 (販売 516 冊・寄贈 345 冊)

※Amazon へのアップについて

- ・Amazon での販売のため、ISBN 番号を取得する

3. 現地支援活動

●月報・石巻市報告書(災害支援ニュースに資料掲載)

日本協会災害支援の現地スタッフは、石巻市からも「大変なケースをソーシャルワーカーが拾い上げてくれている」と信頼され、ソーシャルワーカーの仕事を理解していただいている。非常にいい関係で協働できている。

●現地での事例検討会開催について

- ・来年度は仮設にも行くことになる可能性あり(自殺者は多いため協力を要請される可能性あり)。
- ・来年度、石巻市とともに地域づくりを行っていくことになっており、ソーシャルワーカーへの期待度が高い。
- ・精神保健福祉士協会や地域の団体と連携し、(日本協会はネットワークを組むためのマネジメントに回る)、事例検討会等を行っていく。
- ・事例検討会に関しては、目的、趣旨等を対策本部会議で詰めて、それを現地で実施していく。
- ・現地スタッフはファシリテーターや準備等を担当、現地活動支援協力員リピーターなどに協力していただき、事例を用意する。
- ・開催時期:11 月下旬を予定。
- ・アルコールミーティング等についても、本部会議等で内容を詰めていく。
- ・アルコール依存症の団体等と連携し、その仲介を行ってもいいのでは。
- ・10 月 29 日(月)石巻市にてフォーラム開催。

日時;10 月 29 日(月)14:00~16:30 場所;石巻専修大学 森口記念館

内容;応急仮設住宅、みなし仮設住宅、在宅被災世帯それぞれの住民がどのような状況にあり困難を抱えているのか。またそれらに対する復興支援活動について。今後の石巻市の生活復興への道筋を官民にて議論する。

●ネクストステップ準備室

「ネクストステップ準備室」については、また災害支援ニュースに掲載する。

4. その他

●大阪府済生会

- ・大阪からのチームの一員として、大阪の済生会病院の医療ソーシャルワーカーが石巻に支援員として行っていることを済生会の本部広報室が知り、済生会の機関誌「済生」8月号にこれまでに活動した全員の感想文などが掲載された。
- ・今後も広報紙に災害支援についての報告を掲載予定。

5. 次回予定

- 11月以降の予定 :11月17日(土)18:30～

※ 前回議事録（2巻24号 9月21日発行）分におきまして、「第7回災害対策本部会議議事録」としておりましたが、第8回の誤りでした。大変失礼いたしました。ホームページ用の原本は、正しく差し替えておきますので、ご了承ください。



牡鹿半島 鮎川浜の風景

●●●4. 災害対策本部からのお知らせ

【1.協力員募集】

●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受入を行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***11 月、12 月もまだまだ空いております。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1～2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部会議】

10 月 6 日(土)に実施しました。

次回は 11 月 17 日(土) 18:30～ 協会事務所にて開催します。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から昨年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.石巻市健康・生活復興フォーラム】

「石巻市健康・生活復興フォーラム～市民の生活復興、そして新しい地域の創造へ～」

日 程： 2012年10月29日(月) 14:00～16:30

場 所： 石巻専修大学 森口記念館

参加者： 省庁、宮城県、石巻市他自治体および関連事業所、復興支援団体等の関係
各位

定 員： 300名

申込み期限： 2012年10月25日(木) 必着

お問い合わせ： 下記

Tel:0225-23-9561 Mail:ishinomaki.rc@gmail.com

* 申込フォームに必要事項を記入の上、FAX、メールにてお申込みください。

* 詳細は下記のURL(石巻市健康・生活復興協議会Facebook)をご参照ください。

●●● URL

http://www.facebook.com/photo.php?fbid=427356760655501&set=a.351353854922459.82749.332333643491147&type=1&relevant_count=1&ref=nf

【5.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。
現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願
いたします。

●●● URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【6.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●● URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【7.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル
電話: 03-5366-1057
担当: 笹岡・中川

●●●5. 事務所感想文

最近、事務所には現地からの写真が届くようになりました！

そこで、ニュースレターに協力員さんの活動の様子や現地の様子を掲載し始めました。
また、Facebook の更新もちよこちよこ行っていきたいと思いますので、どうぞ楽しみに！

10/16 災害対策本部事務所 三輪 清子

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 24 年 10 月 19 日 第 2 卷 28 号
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：①ぼる（登る）榛名の キャンプ村

（群馬県高崎市榛名町）